

冬の絵手紙・年賀状教室

盛会御礼新聞 高知中央郵便局

平成27年12月5日

法則化高知授業力UPサークル

高知中央郵便局で、「たんけん三郵便局&冬の絵手紙・年賀状教室」を開催しました。児童六十一名、保護者三十一名、そして村上治義総務部長をはじめとする郵便局関係者四名、教員四名十スタッフ一名、計百一名参加での盛会となりました。

Zエスと高知放送のマスコミ取材も入っており、昼と夕方の二コースでは、トレー版画に熱中する子ども様子が映っていました。

途中、高知県議会議員・田中とおる氏がサプライズ訪問をして下さいました。突然の訪問に驚いていると、「ちょっと近くまで来たので寄ってみました。」との嬉しいお言葉。活動の様子を三十分ほど眺められ、「とってもいい活動ですね。」と目を細められていました。



来ていきました。写真のようにおじやみ投げは大人気。休憩時間も、子どもたちはチャレランに夢中になっていました。



開会挨拶

高知中央郵便局総務部長・村上治義氏による開会挨拶。

「今日は、みんなに年賀状を作っていたできます。お手元にあるミッキーマウスの年賀状を出して下さい。これは高知郵便局長からのプレゼントです。この表に、かくれミッキーが五匹います。見つけられますか。この後、世界一受けたい郵便の授業と郵便局探検もあります。みなさん、楽しんでみてください。」

世界一受けたい郵便の授業

年賀状は、一年の初めに出す挨拶の便りです。年賀状には、お祝いの言葉を書きます。「あけましておめでとうございます」

を基本とした賀詞について勉強をしました。目上の人には四文字以上の賀詞を使うこと、様々な賀詞の読み方を学びました。後半は、みんなで十二支を覚えました。

トレー版画教室

ステンボードに名前ペンで猿のイラストを描き、それを鉛筆でなぞる事でボードに溝が出来ます。その溝を利用した簡単トレー版画に挑戦をしました。最初はみんなが描ける簡単・かわいいイラストでトレー版画を練習。コツを掴みました。同じイラストを同じ手順で描いても、子どもの描いたイラストは全てが違う表情をしており、それぞれが味のある作品となっています。基本の作品作りが終わったら、自分の作りたいデザインに挑戦をする子どもの姿がありました。イラストの切り方を工夫する子、猿以外のお正月のイラストを描く子、彫り方にこだわりの持つ子。子どもの創作意欲に火がついた時間となりました。



探検！郵便局

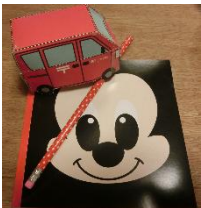
参加人数が多かったので、2つのグループに分かれて探検に出かけました。一つめのグループは、高知中央郵便局の巨大な建物内を歩き、一階にあるポスト見学に行きました。ここでは、郵便局員さんがポストの中を見せて下さり、興味深そうに中をのぞき込む人や写真をとっている人が沢山いました。普段は見られないポストの中は、参加した保護者も気になるようで、子どもよりも熱心に見学している様子が印象的でした。



二つめのグループは、会場内に展示されている本物の郵便バイクとの記念撮影を楽しみました。実際に、バイクにまたがって写真を撮ることが出来るのも魅力でした。更に、郵便局員さんが準備してくれた子どもサイズの制服やヘルメットも着用でき、貴重な体験を積むことができました。

修了証・記念品の贈呈

閉会行事では、参加者一人一人に村上総務部長から修了証と記念品が手渡されました。記念品は、ディズニーの文房具と紙で作る郵便車でした。



参加者アンケート（子ども）

・こんなかんたんにスタンプや年がじょうがつくれるとは知らなかったです。またさんかしたいです。

・ぼくは、年賀じょうを2回練習しました。ゆうびんポストのひみつ（ゆうびんポストの中）を見れてそうなんだなあと思いました。ゲームも楽しかったです。

・年賀状がかんたんにできるからびっくりしました。このイベントにきてゆうびんの人になりたくまりました。

参加者アンケート（保護者）

・とても楽しい体験ができました。家でごんばって作りたいと思います。年賀状を通して祖父母や友人と来年もよいつき合いができるよう願っています。

・初めての参加でしたが、年賀状の楽しい書き方を教えて頂いて良かったです。子供は書くのが少しでもできて良かったですと思います。

・年賀状の簡単で楽しい作り方を知れ、また干支等のミニ知識の講座も面白かったです。先生方の話も楽しかったです。

